

外張り断熱工法

断熱厚50mm超～100mm以下
横胴縁 限定基準

1-6 横胴縁仕様 各部の規定

⑦出隅部の胴縁施工について

⑦-3 出隅部に木棧(断熱材厚み×150mm)を追加する場合

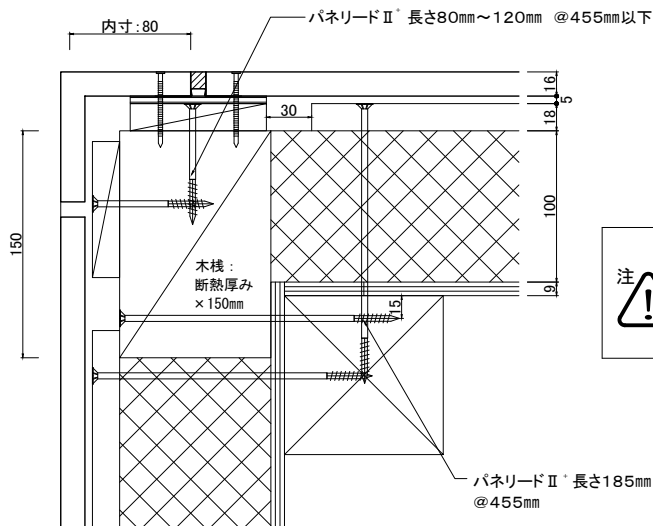
施工条件

- ・ 木棧(断熱厚み×150mm)を補助棧留め付けビスと同じビスで455mm以下の間隔で躯体に留め付けます。
- ・ 出隅部の縦胴縁を留め付けビス(『パネリドⅡ (プラス)』の長さ: 胴縁+断熱材厚みかつ、木棧を貫通しない長さ)で455mm以下の間隔で躯体に留め付けます。
- ・ 同質出隅は、内寸80mm以上のものを使用します。

納まり例となります。(※該当部を分かり易くするため、出隅の片側のみの納まり図としております)

同質出隅 内寸70mm

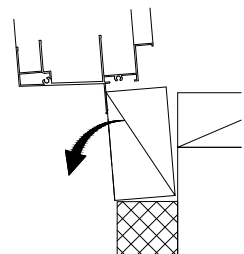
「断熱厚100mm+面材」でのシーリング仕様施工例



注意
木棧を躯体に取り付ける時に斜めに
転びやすくなりますのでご注意ください。

1-7 その他の注意事項

断熱材の厚さが厚くなることに加え、サッシの高性能化に伴いサッシ自体の重量およびガラスの重量が増加することが考えられます。
サッシ周囲の棧がサッシ重量で下がらないよう、必要十分な留め付けを行ってください。



※外張り断熱工法の施工基準以外につきましては、モエン標準施工法に準拠してください。